
世界は今日も晴れ

華淋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界は今日も晴れ

【Nコード】

N0124BA

【作者名】

華淋

【あらすじ】

何の変哲もない女子大学生、神田 怜。

只今お仕事探し中の彼女が見つけたのは、お手伝いさん兼マネージャーという住み込みの仕事。この際住み込みでも…と申し込んでみると、見事採用！彼女を巻き込んだ新しい生活が始まります。

更新は多分早めです。

始めに（前書き）

この小説の説明（？）です！。

始めに

主人公は只今お仕事探し中の神田^{かんだ} 怜^{れん}。彼女は、何の変哲もないただの女子大学生です。

ある日見つけたのは、お手伝いさん兼マネージャーという住み込みの仕事。この際住み込みでも…という感じで申し込んでみると、見事採用！しかもその家は我らが祖国、日本さんの家だった

初投稿ですが、こんな感じで進めていきます
グダグダなところも皆様のスルースキルでスルーして下さいまし。
話が進むにつれて多分全キャラ出てきます。

始めに（後書き）

こんな感じです。
次は多分本編。

お仕事ないかな（前書き）

此処から本編ですよ！

お仕事ないかな

「はあ…」

ため息つくとき幸せが逃げるって言うけど、そんなのもう関係ないよね。

私、神田 怜です。

趣味はパソコンいじること、特技は現実逃避。何か嫌なことがあるとすぐに頭の中は二次元に行ってしまう女子大生です。俗にいうオタクです。そして物凄くあがり症。

そんな私が何故ため息を吐いたかというと、今日のバイトの面接に失敗したからですよ！

なんだよ！名前を聞かれて生年月日答える馬鹿が何処にいるんだよ！此処にいたよ馬鹿！！緊張し過ぎだよお…

そんな感じで今、へこみながら帰宅中です。

「あー…私でも出来るような仕事とかなないかなあ…」

接客業じゃない仕事の方が良いよね、相手のためにも。

トボトボと肩をおとして帰路についていると、家の近くまで来ていることに気づいた。

決めた、家に帰ったらパソコンする。もう決めたもんね。大学の課

題なんて知るもんか。

そこまで考えた時、ふと電柱に貼ってある貼り紙に目があった。
あれ？こんな所に紙なんて貼ってあったっけ？

「……お手伝いさん……？」

そこに書いてあったのはお手伝いさん兼マネージャーのお仕事。お手伝いさんかあ……掃除したりお茶出ししたりするのかな？それなら出来る気もするけど……

「でも住み込み……」

だって住み込みってあれでしょ？同じ家に住んで働くんでしょう？なんかちよつと気を使う事とか多くなるんでしょう？でしょでしょでしょ？

「まあでも、申し込んでみるか！」

紙に書いてある電話番号を素早くメモして、私はその場を後にした。

お仕事ないかな（後書き）

無駄に長くてすみませr y

頑張りまする…

意外とあつさり

私は今、とある家の前にいます。昨日、貼り紙に書いてあった電話番号に連絡したら面接をするから、という事で教えてもらった住所が此処だった。ちなみに声は男の人でした。

その家はすごく…うん、

「……でっか…」

そうです、でかいんです。

それに昔ながらの家っていいですか、やたらと歴史の深そうな家なんです。

それになんかさつきからカコーンって音が聴こえて来ますよ！？あれって竹の中の水が落ちた時に鳴るやつですよ？そんなものもあるほどすごいお家なんですか！？

ああー緊張してきた。どうしよう手汗すごい。

「…よしっ」

気を引き締め、いざインターホンを押す…押す、お、お、あれ？

インターホン無いし！！

どんだけ昔ながらなの！？まさかのノックしかないフラグ！？

内心えええ…となりながらもノックをする。ちよつと待つと、中から男の人が出てきた。うわぁ綺麗な人！

「あの、どちら様ですか？」

「へあつ！？あ、あの昨日電話した者です！」

しまったあああ！思わず変な声が出てしまった！！私の馬鹿馬鹿馬鹿あ！！

すると男の人は、柔らかく微笑みを浮かべた。

「神田怜さんですね？お待ちしましたよ」

その柔らかい笑顔に少し見とれていると、私にどうぞ、と家に入るように言ってくれた。

「お、お邪魔致します…」

私はおずおずと家に入っていた。

「日本茶で大丈夫でしたか？」

「あつ、はい、ありがとうございます…」

日本茶の入った湯呑み二つから、お茶の良い香りが漂ってくる。さつき客間に案内された私は、最初はソワソワと落ち着かなかったが、お茶をいれてもらっている間に少し慣れてきた。

男の人が目の前に座る。いよいよ面接っぽい雰囲気になってきたので背筋をピツと伸ばす。

「えっと…自己紹介がまだでしたね。はじめまして、名を本田菊と申します。国は日本です。」

「はははじめまして！私、か、神田怜と申します！……ってえ？国？」

出身って事かな？そりゃあこの人は日本人の中の日本人って感じはするけども。

「出身国って事ですか？」

「え？いや、私が日本です」

ええええ！？（；；；
。
。
、
）

意外とあっさり（後書き）

やっぱりながい

次回に続きます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0124ba/>

世界は今日も晴れ

2011年12月31日16時47分発行